

事業計画書

事業名	双子・三つ子を安心して産めるまちへ
実施場所	沼津市内
実施予定期間	※イベントや研修会等の当日だけでなく、準備期間・実績の取りまとめ期間等も含めて記載して下さい。 2021年 4月 1日 ~ 2022年 3月 31日

◎事業概要

※事業の概要を100～200字で簡潔に記載して下さい（事業の紹介などで使用します）。

多胎児をもつ母親によるネットワーク「ふたご・みつごの会もっちーず」の活動を発展させ、多胎児出産前のパパ・ママの不安の軽減、悩みを相談し励まし合えるつながりの構築、先輩ママによるサポーター派遣、育児に関する勉強会やイベントの実施を通して、多胎家庭でも安心して楽しく育児ができるまちを目指す。

◎目的

※何を目的として実施する事業であるか（事業を行うきっかけ（地域の問題点や課題、社会背景など）や、課題解決のためにどんなことが必要と考えるか）を記載して下さい。

多胎児、つまり双子や三つ子の妊娠・出産が近年増えている。リスクの高い出産を乗り越え、過酷な育児生活を送ることとなる多胎出産。多胎妊娠は妊婦の負担が大きいものの専門の資料や相談窓口は少ない。出産後は、授乳やおむつ交換などの作業が倍以上になるほか、外出先で子どもが同時に泣き出し周囲から心無い言葉をかけられるなどの経験から子どもを連れて外出することができない母親も多くいる。一昨年には、愛知県で三つ子の育児に追い詰められた母親が次男を暴行し、死亡させる事件が発生した。このような多胎家庭における虐待件数が多いことも事実である。

これまで私たちは多胎妊婦や多胎家庭への支援の充実について行政への協力を要請してきたが、単胎妊娠に比べ数が少ないことなどが理由でいまだに支援は制度化されておらず、危機感を感じている。

そのため本事業では、多胎妊婦やその家族に対してのヒアリングや相談会を実施することで不安の軽減を図り、育児本では知ることのできない多胎育児の実際について話をする機会を設けたい。出産後の家庭に対しては先輩ママがサポーターとして育児や家事のサポートに行くしくみをつくり、母親が一人きりで育児・家事を抱え込まないよう支援していく。また、継続的なつながりを作っておくことで仲間意識を感じてもらい、定期的な集まりの開催（オンラインも含む）により母親のリフレッシュの機会を設けること、防災講座や育児講座などの勉強会を行うことの必要性を感じている。

◎実施内容

日 程	実施項目・作業項目
4 月	※イベントや研修会等の行事日程だけでなく、実施内容(打合せ・会議・資料作成・参加者募集・準備・検討会)、実施場所、参加対象、人員配置、役割分担など、事業期間すべてにわたる実施内容を記載して下さい。 もっちーず会員にどんな講座やイベントを行いたいヒアリング
5 月	もっちーず会実施
7 月	もっちーず会実施
9 月	防災講座
11 月	もっちーず会実施
12 月	子どもとママのためのコンサート
3 月	もっちーず会実施 【プレ多胎パパママ講座】保健センターと連携して随時オンラインにて実施 【育児・家事サポーター派遣】サポーター利用希望者に応じて随時実施

◎事業効果

※事業の実施により、期待される効果を記載して下さい。			
① 双子・三つ子を妊娠したご家族の不安が軽減し、安心して出産に臨むことができる。 ② 一人で家の中で多胎育児を抱え込んでいる母親が外に出たり外とつながったりするきっかけとなる。 ③ 家事・育児の手伝い、通院や予防接種の付き添いにサポーターを派遣することで、母親の育児の負担が減ったり心に余裕がうまれたりする。 ④ 災害などの際に助け合えるネットワークを構築し有事の際には助け合うことができる。 ⑤ 普段なかなか外出できない多胎の母親が勉強会やイベントを通して知識をつけたりリフレッシュしたりできる。			
成果指標	※事業効果を客観的に評価できるよう、具体的な数値等を用いて成果指標を設定して下さい。 プレパパママ講座：2回実施 サポーター派遣：5回実施 講座・イベント：2回実施	指標の 検証方法	※左記指標の検証方法を記載して下さい。 回数記録 アンケート

◎評価の視点に合致していることの説明 ※評価の視点については、募集の手引きを必ず確認して下さい。

公益性 ・ 必要性	※公益性：地域のまちづくりの推進に如何に寄与できるのか、不特定多数の市民の利益にどうつながるのか等について記載して下さい。 ※必要性：事業を実施する意義や、本ファンドによる助成が有益で質の高い事業展開につながる理由を記載して下さい。 公益性：沼津が多胎児でも安心して妊娠・出産できるまちになるということは、つまり沼津に住む様々な世代の人々が多胎児妊娠・出産そして育児についての知識や理解を深めることにもつながる。多胎児に限らず、さまざまな妊娠・出産のかたちを受け入れ、地域全体で子育てしていくようなまちを目指したい。また、これからいつだれが多胎児を妊娠しその家族になるかわからない為、本事業を継続的に行うことで、市民全体に妊娠に対する安心感を与えることにつながるだろうと考える。
-----------------	---

	<p>必要性：多胎児の妊娠・出産が近年増えている。リスクの高い出産を乗り越え、過酷な育児生活を送ることとなる多胎出産だが専門の資料や相談窓口は少なく、沼津市でも多胎児を専門とした相談窓口はない。そのため、多胎児妊婦や出産後の母親にとっては、多胎育児の経験者からのサポートやアドバイスが一番心強く、信ぴょう性のあるものとなってくる。そのため、本事業を市民に周知させ、継続的に活動していくことが、一人でも多くの多胎児家庭の母親を救うために必要であると考えます。</p>
地域性	<p>※地域の実状と課題をどう捉え、事業を行うことによってどのように課題を解決するのか、また、地域の特性や地域資源をどのように活かしたか、などについて記載して下さい。</p> <p>沼津市では多胎児に特化した育児支援の制度はいまだに施行されていない。隣町である三島市では、多胎児と年子の家庭に対しての育児サポーター制度が既に施行されており、沼津市でも同じような制度を行ってほしいという要請を行ってきた。しかし、多胎児の妊娠や出産は単胎児よりもはるかに少ないことや、数が見込めないことから、なかなか制度化に踏み切るのは難しいようである。そこで、民間の団体である私たちが、本事業を継続的に行い、実績を重ねることで支援の必要性を確かめ、多胎児家庭にどんな課題やニーズがあるかを知り、市民や行政に伝えていくことで、将来的に沼津市として多胎児に特化した支援のしくみが制度化されることを期待している。</p>
先導性	<p>※事業の新規性や独自性など、新たにチャレンジする点、工夫した点などについて記載して下さい。</p> <p>このような多胎児をもつ母親による団体は沼津市には他になく、先導性があると考えます。</p> <p>沼津市で多胎児を妊娠し、保健センターで母子手帳を受け取る際に、保健師から本団体への加入を勧めるようにしている。このように民間の母親による団体が保健センターと共に連携して妊婦を支援しようとする取り組みは他にない新たなチャレンジである。</p>
発展性 ・ 継続性	<p>※発展性：活動の広がりや波及効果がどのくらい見込め、地域の発展・活性化につながるのか記載して下さい。</p> <p>※継続性：本ファンドによる助成終了後も継続的・自立的な活動とするために、事業実施体制や活動資金の確保などどのように取り組んでいくのかについて記載して下さい。</p> <p>沼津市の育児支援政策の一つとして多胎児に特化した支援の制度を新たに設けてもらえるよう、継続的かつ発展的な活動をしていく。</p> <p>沼津が、多胎児でも安心して出産・育児ができるまちになるよう、声をあげ、市民に対しても多胎児に対する情報発信をしていきたい。また、いずれは本団体が市の委託を受けて育児・家事支援サポートやパパママ講座などを行ってほしいよう、要請していきたい。</p>
実現性 ・ 妥当性	<p>※実現性：事業目的と事業内容は合致しているか、実現のために事業内容、予算の積算、自己資金の準備、スケジュール等について工夫した点を記載して下さい。</p> <p>※妥当性：各種法令順守、関係者との調整状況、費用に対する事業効果の妥当性について記載して下さい。</p> <p>本団体は2017年から活動を続けており、80名の会員と普段から育児相談や育児用品のお譲りについての連絡を取り合っているため、本事業の実現性は高いものと考えている。</p> <p>コロナウイルスの流行により、対面での集まりがなかなか難しくなっているが、オンラインでの集まりに変えて行うなど、状況を見て判断し工夫して活動していくこととしている。</p> <p>また、防災講座やミニコンサートについては、会員のつながりから講師を依頼することを検討しており、受講する側だけでなく、講師の側にも母親の活躍の場としてのきっかけやチャンスになればよいと考えている。</p>

<p>活動に 対する 熱意</p>	<p>※活動の動機、活動に対する意欲・熱意について記載して下さい。</p> <p>ご自分の家族が、もしくは友人が、双子・三つ子を妊娠をしたと聞いたとき、「沼津なら大丈夫、安心して出産してね」と言えますか？</p> <p>本事業には、沼津市民の誰もが、多胎児を妊娠した家族にこんな言葉をかけられるようになってほしい、という願いが込められています。そんな温かくて優しいまちを目指すため、多胎児をもつ母親みんなで一丸となり活動していきます。</p> <p>多胎児のママを救いましょう！多胎児にやさしいまちをつくりましょう！</p>
---------------------------	--

◎次年度以降の活動予定

<p>※ソフト部門（ステップアップ型）新規または2回目の応募で、助成の継続（最大3年まで）を希望する場合は、今後の活動予定と事業継続のための戦略について記載して下さい（今回の応募が次年度以降の助成を約束するものではありません）。</p> <p>2021年度はこれまでの活動にプラスアルファで「支援」という挑戦をする。</p> <p>2022年度以降は、その「支援」を市の子育て支援と結び付け、本事業の取り組みが評価され委託事業として行うことができるよう行政にアプローチしていきたいと考えている。</p>
